

# ふるさとのよさを生かした 特色ある教育活動の推進について

## 課題

- 世界遺産や古代東国文化をはじめとする歴史文化遺産や豊かな自然を活用した学びを推進し、郷土への誇りと愛着を育成する。
- 地域の産業界と連携し、キャリア教育を通じて職業意識の育成を図るとともに、魅力ある県内企業への理解を深める。

### 【施策の方向性】

世界遺産、絹文化に触れる機会を提供し、県内の子どもたちが歴史的価値の理解を深める。



校旗を作ろうプロジェクト  
で作成した校旗

### —主な取組—

#### ①「ぐんまを学ぼう」の作成

- ・「富岡製糸場と絹産業遺産群」や「ぐんま絹遺産」について、小4～6学年と中2学年の学習活動案、ワークシート、資料をまとめた指導資料を作成し、県内各小中学校へ配布
- ・指導主事会議や各種研修会において、「富岡製糸場と絹産業遺産群」の学習や地域の文化遺産を活用した学習を実施するよう依頼

#### ②校旗を作ろうプロジェクト

- ・小学生による養蚕実習と自作の繭を材料とした校旗の作成（45校参加）

#### ③学校キャラバン

- ・小中高校生を対象とした、世界遺産伝道師の学校訪問による世界遺産に関する講義、上州座繰り体験等（約20校実施予定）

#### ④副読本・DVDの作製・配布

- ・世界遺産見学の事前学習用の教材を県内全小学校へ配布

#### ⑤日本遺産の普及啓発

- ・日本遺産「かかあ天下一ぐんまの絹物語ー」の普及イベントで地元小学生の取材によるガイドマップを作成配布



副読本



DVD

### 世界遺産課 義務教育課

【施策の方向性】

- 県内の歴史的価値ある文化遺産に関する学びを推進し、子どもたちに郷土に誇りを持たせるとともに、古代東国文化を積極的に発信する。
- 「東国文化」の認知度 80% (H31年度)
- 上野三碑の「世界の記憶」登録(H29年度)



史跡観音山古墳  
小学生の社会科見学の様子

—主な取組—

①東国文化副読本の活用

- ・東日本最大の古墳大国であったことを子どもたちに知ってもらうため、県内の全中学校での活用を目指す。

②県立歴史博物館からの情報発信

- ・H28年度にリニューアルオープン
- ・H29年度のグランドオープンでは、重要文化財を展示していくほか、東国文化全体のストーリーや県内歴史文化遺産に関する情報発信機能を強化
- ・県内の小学校の校外学習利用を促進

③東国文化ゆかりの地めぐり

- ・アプリを活用し、学びながら楽しく県内歴史文化遺産をめぐるルートを開発

④東国文化や上野三碑の理解促進

- ・本県が古代東国文化の中心地であったことや、上野三碑の歴史的価値を、サミットやシンポジウムを通じて県内外の多くの方々に再認識してもらう。

⑤文化財の保護・活用

- ・上野国分寺跡、金井東裏遺跡

⑥古墳・遺跡等の身近な文化財に触れる体験活動の学校教育への導入

⑦長期休業を活用した体験学習等への参加促進

- ・長期休業を利用した県立歴史博物館や県埋蔵文化財調査センター発掘情報館における企画展の見学や体験学習への子どもたちの参加を促進

⑧教員研修の推進

- ・日本古代史の授業において、古代東国文化の学習が円滑に行われるよう教員研修を推進

⑨「ふるさと群馬のたからもの」文化財の絵のコンクール

- ・小中学生を対象に、県内文化財への誇り、愛着を育成

⑩上野国分寺跡ガイダンス施設、史跡綿貫観音山古墳社会科見学への対応

【施策の方向性】

- 群馬の子どもたちの自然を守る意識を育む。
- 環境教育を通じて尾瀬の保護と適正利用を推進する。

自然環境課  
義務教育課



＜特徴＞

- ・ガイドを伴い、少人数のグループで実施することにより質の高い自然体験ができる。
- ・感受性豊かな小中学生のうちに尾瀬の素晴らしさを体験できる。
- ・「尾瀬学習プログラム」による、事前事後の充実した環境学習ができる。

—主な取組—

①実施上の心構えや学習案などを掲載した「尾瀬学習プログラム」の配布

- ・事前・事後学習と当日の活動の充実を図る
- ・「尾瀬学校充実のために」「学習活動編」「山小屋宿泊編」の3編を作成

②教職員対象の実地研修の実施

- ・初任者研修の一貫として、尾瀬学校での研修を実施

③充実に向けた協議会等の実施

- ・実施校、実施予定校による実施計画と改善充実に向けた協議（H25）
- ・今後の尾瀬学校の更なる充実に向けた代表者会議（H28）

④尾瀬学校実施に係るガイド料、バス代の補助

—尾瀬学校参加校・参加者数の推移—

	H20	H23	H26	H27	H28(予定)
小学校 参加人数	56校 3,097人	74校 3,896人	82校 4,051人	77校 3,784人	72校 3,426人
中学校 参加人数	52校 5,048人	68校 6,784人	74校 7,398人	62校 6,429人	64校 6,635人
合計 参加人数	108校 8,145人	142校 10,680人	156校 11,449人	139校 10,213人	136校 10,061人

—芳ヶ平湿地群の有効活用—

①ガイドの育成

- ・質の高い自然体験を通じた環境学習を進めるためのガイド育成(17名)

②歩道の再整備・指導標の多言語化

- ・H28年度：渋峠～芳ヶ平(約3km)
- ・H29年度：芳ヶ平～草津(約5.5km)



【施策の方向性】

- キャリア教育を推進し、時代に応じた職業観や勤労観を根付かせる。
- 産業界との連携を深め、職業意識の醸成や、より実践的な職業教育を推進する。



—主な取組—

- ① 高校生等インターンシップ推進事業  
企業や行政機関等での就業体験による望ましい職業観・勤労観の育成と、県内の特色ある企業を知る機会を設定
- ② キャリア教育サポート事業  
各学校で講師を招き、生徒が主体的に進路選択や将来設計を行うための支援を実施
- ③ 次代を担う職業人材育成事業  
農業、工業、商業、福祉の各分野において、地域産業界や研究機関等との連携による産業界から求められる人材を育成
- ④ 商工団体などとの連携  
商工会議所等と課題やニーズを共有化し、連携してキャリア教育を推進

○郷土の発展に向けた勤勉・努力の素晴らしさを育む

「楫取素彦」「船津伝次平」など、郷土の先人について扱った資料をもとにした道徳の授業の充実

○自然愛や郷土愛を育む

「尾瀬」「富岡製糸場」など、郷土の自然や文化財について扱った資料をもとにした道徳の授業の充実

<全学年を対象とした読み物資料を作成し、県内全小中学校へ配布（平成26年12月）>



道徳郷土資料集「ぐんまの道徳」

○世界遺産を扱った取組例（県内4市町で実施）

- ・富岡製糸場のガイドによる出前授業、富岡製糸場での子ども解説員体験、蚕を飼育して繭から生糸を作る体験活動の実施【富岡市】
- ・高山社跡を活用した地域学習（高山社学）の実施【藤岡市】



○その他の地域の文化遺産等を扱った取組例（県内15市町村で実施）

- ・市内の織物協同組合や伝統工芸士会に依頼して全小学校で「織物体験学習」を実施【桐生市】
- ・市内の主な文化財や史跡を掲載した「地方図」を中学1年生に配布【太田市】